



インスピレーションになろう

ガバナー月信

2019年1月号 Vol.7

2018-2019 年度ガバナー 川瀬康裕



Contents

奉仕プロジェクト事業報告	1	新入会員紹介・訃報・今後の予定	10
大谷ガバナーエレクト渡米壮行会	3	出席報告	11
ロータリーショーケース 2560	4	コーディネーターニュース	12
派遣学生オリエンテーション・クリスマス会	7	ハイライトよねやま	13
ロータリー青少年交換 長期派遣学生選考試験	8	文庫通信	15
ロータリー財団地区奨学生募集説明会	9		

■奉仕プロジェクト事業報告

映画で学ぶ認知症 「ベトナムの風に吹かれて」

分水RC幹事 下村 克実

11月21日、地区財団補助金を活用させて頂いて、奉仕プロジェクト事業『映画で学ぶ認知症「ベトナムの風に吹かれて」上映、及び原作者 小松みゆき氏トークショー』が行われました。

第2560地区は2018～2019年度 川瀬ガバナーのご指導のもと、地区を上げて認知症の啓発活動、及び支援活動に取り組んでまいりました。具体的には、第2560地区のロータリアン全員がオレンジリングを取得しようというものです。

当、分水ロータリークラブでも、3名が7月に開催された燕市分水地区地域包括支援センター主催の「認知症サポーター養成講座」にて講義と実地研修に参加してまいりました。

講義は寸劇もまじえた親しみやすいもので、実地研修では知っていること（困っているご年配の方がおられたら声をかけよう）と実際にやること（声かけして、ご年配の方の役に立てる行動をとること）の違いに大いに戸惑いました。

声かけのあいさつのあと、簡単な世間話をしながらどのようなことで困っているのか、どのようにしてもらいたいのかお話をしていただけるようにするのですが、相手の方に警戒されないようにまた親しみをもってもらえるよう行動するのは、細やかな気配りや知識と経験が必要なのだ痛感しました。

「認知症サポーター養成講座」を修了するとオレンジリングをいただけるのですが、一回の受講ではとても実際に行動がとれるほどの知識と経験を得られるとは思いませんでした。

しかし講義の一部分だけを知っているだけでもまったく知らないよりははるかに良いと思いますので、ロータリアンの皆様は「認知症サポーター養成講座」を受講するか、もしくはクラブにて地域包括支援センターなどに相談し、共に開催することをおすすめいたします。

当クラブでも今年度後半にて「認知症サポーター養成講座」を開催し、全会員がオレンジリングを取得する予定となっております。

さて、奉仕プロジェクト事業『映画で学ぶ認知症「ベトナムの風に吹かれて」上映、及び原作者 小松みゆき氏トークショー』についてですが、今年度は当、分水ロータリークラブより久住勲夫会員が第4分区ガバナー補佐となりました。

また地区奉仕プロジェクト委員にも山田恭弘会員が任命され、そのご縁で当クラブに地区財団補助金を活用した奉仕プロジェクト事業開催の依頼がまいりました。



しかし、今年度は9月8日に当クラブ主催にての第4分区IMの開催も控えておりました。

そのため、年度の前半は山田恭弘地区奉仕プロジェクト委員が孤軍奮闘の大活躍にて、「ベトナムの風に吹かれて」原作者の小松みゆき氏とコンタクトをとり、現在ベトナムにお住いの小松氏が一時帰国する、非常にタイトなスケジュールの合間を縫って講演していただけることになりました。

また、映画の配給会社からも今回の事業の趣旨に賛同していただき、非常によい条件にて映画上映の権利を譲っていただきました。

第4分区IM終了後は会員一丸で準備にあたり、当初懸念していた観客動員も新聞折り込みチラシや市の広報紙への掲載、また地方紙での事業紹介記事掲載などで予想をはるかに上回る市民の反応があり、当日は燕市内外より約180名の参加という大盛況のうちに開催されました。

映画は原作者小松氏のエッセイをもとに、日本とベトナムの初合作映画として作品にしたものです。

あらすじは、以下のとおりです。

「日本とベトナムの首都ハノイで、日本語教師として働く小松みゆき氏は新潟に住む81歳の母とは離れて暮らしていました。父の葬式を機に一時帰国すると母の認知症がひどくなっており介護の必要性が増したことから、母をハノイに迎え同居生活を始めることになりました。人間関係の濃い下町の旧市街や旅先での緑豊かな山々の光景に刺激され、母はイキイキと昔の思い出を語り出します。転倒による大怪我や失踪事件などのトラブルにもめげない母娘。等身大の海外介護の日常をユーモラスに綴った感動の物語。」というものでした。

映画上映後は小松氏と老人介護の専門家2名、コーディネーターの計4名にてディスカッションを行いました。

小松氏は約40年前に単身ベトナムに渡って日本語教師となるほどの行動力やバイタリティーのある方で、身振り手振りをまじえたお話はとても楽しく約1時間があっという間に過ぎました。

ディスカッションに参加していただいた2名の専門家の方も、実際の現場での出来事をお話し下さり大変に参考になりました。

最後に小松氏から、「皆さんはこの映画は認知症の母と介護する娘の物語ととらえていますが、大きなテーマとして日本とベトナムの文化の違いを描いているものです。次はぜひそういう視点でこの映画をご覧ください」というお言葉があり、1本の映画にもいろいろな見方、とらえ方ができるものだなあと感心いたしました。

また、テーマが認知症ということで市内の病院・医院の医師の方々にも、ぜひご覧くださいとお声掛けをして、会員増強のよいPRにもなったと思います。



大谷ガバナーエレクト渡米壮行会

2019-2020 年度地区幹事 本山 秀樹 (高田 R C)

12月8日(土)上越市高田は、今冬一番の寒さとチラチラ初雪の舞う朝、チャーターしたバスに第7分区内地区役員、スタッフが乗り込み大谷ガバナーエレクト渡米壮行会のため新潟市に向け多少の緊張感の中出発しました。

会場のホテルオークラ新潟では、渡米壮行会に先立ち大谷ガバナー年度第一回地区運営会議、三年度三役会議、諮問委員会も同時開催されました。第一回地区運営会議では、大谷ガバナー年度地区役員、ガバナー補佐、スタッフが一堂に会し会議出席者の紹介、川瀬年度と大きく変わった点を中心に組織図の説明、地区予算、ガバナー月信についての説明そして、PETS、地区研修・協議会、地区大会記念ゴルフ大会、地区大会について各実行委員長から現状報告がありました。最後に、大谷年度の公式訪問(案)が示され、これにはガバナー補佐各位から多くのご要望が寄せられ活発な会議となりました。



大谷ガバナーエレクト渡米壮行会は、会場を変え華やかな生花が飾られた艶やかな雰囲気の中、関川地区幹事の司会で始まりました。新保清久副ガバナーからは、体調を万全に国際協議会を楽しんで来て下さいと温かい激励の言葉を頂き、壇上にて饞別と花束贈呈が行われました。それに応えて、大谷ガバナーエレクトからしっかり勉強し地区の運営、活動方針に活かしたいと決意を語られ会場の雰囲気を盛り上げていただきました。その後、渡辺敏彦パストガバナーからの乾杯のご発声で宴席が始まり、各テーブルで大谷ガバナーエレクトと出席者の歓談の輪が広がり、会議では出なかった質問、話題で会場は大いに盛り上がり有意義な壮行会になりました。そして今日は、大谷ガバナー年度の実質的なスタートの日であり、長い一日ではありましたが大変意義のある一日でもありました。大谷ガバナーには国際協議会から無事帰国され変革期のロータリー活動に邁進することを参加者一同心から願い、最後に、山崎堅輔パストガバナーの中締めで無事壮行会を閉じることができました。出席された皆様に心から感謝申し上げます。



新

ロータリーショーケース 2560

■新津RC

新津ロータリークラブでは

今年度「外部卓話」に力を入れて例会を企画しています！

幹事 吉田 健治（新津RC）

新津RCでは7/18（水）素晴らしいお客様をお迎えして第3例会が開催されました。この日卓話を頂きましたのは第2750地区パストガバナー（東京銀座RC）市川伊三夫様でございます。令夫人、市川弘子様もご一緒にお越し頂きました。卓話の演題は「第四次産業革命の実態」というお話で、これから激変する世の中についてご講演を拝聴する事が出来ました。

市川パストガバナーご夫妻は当クラブの今年度会長のご両親になられます。この日は遠く、宮城県から第2520地区パストガバナー桑原 茂様（塩釜RC）、そして当地区からも佐々木昌敏パストガバナー（小千谷RC）をお客様としてお迎えする事ができまして、まるで公式訪問のような素晴らしい一日となりました。

この度、新津RCでは例会場が「割烹・榊形屋」さんに変更となりまして、新しいスタートに花を添えて頂く事ができました。市川伊三夫様、市川弘子様、桑原 茂様、佐々木昌敏様、大変ありがとうございました。



ロータリーショーケース 2560

■雪国魚沼 RC

第 22 回シングلزパーティー

幹事 井口 司（雪国魚沼 RC）

22 年前から年 1 回、毎回新たな企画をしながら開催している当クラブを代表する社会奉仕事業です。2018 年 6 月 3 日に越後湯沢の N A S P A ニューオータニで開催された第 22 回シングلزパーティーの参加者は、男性 25 人女性 23 人でありました。（男性の申込は 28 人ありましたが、抽選にて 25 人に限定）年齢の上限を男女ともに 30 歳から 45 歳という条件にて募集いたしました。

参加者の感想として年齢層が高く、落ち着いた出会いのパーティーであったとの感想を頂いております。参加者の真剣さを感じられ、年齢層が高いためか安直なカップルは成立せず、カップルの成立は 6 組にとどまりました。しかしながらこの会をきっかけに、14 人のグループ及び 7 人のグループがパーティー終了後に意気投合し、ホテルのラウンジでさらに会話が弾んだ模様でした。

またこの会で、シングルマザーの方が同姓で同年代の方と知り合えて有難かったとの報告がありました。さらにパーティーに参加したことによって、自分の立場（年齢や条件）を自覚する良い機会となったとの報告もありました。

上記に記載したうち、追跡調査を行わない旨を予め参加者に伝えてあります。このことが参加者の心理的負担を軽減し、良い効果をもたらせていると思われまます。次年度は 2019 年 6 月 2 日に開催いたしますので、ご興味のある方はぜひ事務局までお問い合わせください。



ロータリーショーケース 2560

■雪国魚沼 RC

南魚沼市バスケットボールクリニック

幹事 井口 司（雪国魚沼 RC）

青少年健全育成事業「南魚沼市バスケットボールクリニック」は元日本代表選手・長野県成年女子コーチの中村氏を中心に指導をお願いし、一昨年、昨年と継続した10回のクリニックを行いました。中学生、高校生173人延べ928人、指導者19人、保護者関係者延べ約300人の参加者にお集まりいただき、クリニックの際に1,000人を超える人へ雪国魚沼ロータリークラブを紹介することができ、地域での認知度が高まりました。ロータリークラブの理念や事業（ポリオ撲滅運動等）を知らなかった方々にも説明の機会を得ることが出来ました。

参加者の学生達からは「これからも参加したい。」「全日本の選手や、国体選手から直接指導してもらい楽しかった。」などの声が上がっており、保護者の方からは「クリニックに参加したお陰で子どもが明るく前向きになりました。」とのご感想を頂きました。成果を数値で表すとすれば参加人数くらいですが、ロータリークラブを知ってもらえたこと、子ども達に良い影響を与えられたことは素晴らしい成果だと感じております。

またこの2年間の集大成として、3年目の今年度は「南魚沼市バスケットボール大会」を2018年12月15日に開催いたします。地域に貢献している南魚沼バスケットボール協会様からご講演も頂く予定です。クリニックに参加してくれた子ども達が少しでも成果を出せるよう運営やバックアップ等、クラブを上げて成功できるよう努めますのでよろしくお願い致します。



第1回派遣学生オリエンテーション・クリスマス会

青少年交換委員会

委員長 三牧 好起（頸北RC）

12月23日（日）クロスパル新潟にて、第1回派遣学生オリエンテーションを開催しました。出席者は、長期・短期派遣予定学生と保護者、山本 和則地区パストガバナー、大谷光夫地区ガバナーエレクト、スポンサークラブ、ROTEXの皆様です。オリエンテーションでは、「派遣学生に必要なロータリー知識、ロータリー交換学生としての心構え、派遣の中止と注意事項、予防接種、危機管理システム（YESS）の操作説明」等を説明しました。オリエンテーションは、合計4回予定しておりますので、関係者の皆様におかれましては、引き続きのご協力をよろしくお願い致します。

○長期派遣予定学生（スポンサークラブ）

佐藤 花与(新潟RC)、神谷 優李(糸魚川中央RC)、小田 夕(新潟東RC)

○短期派遣予定学生

横田 愛菜(新井RC)、石橋 幸弥(糸魚川中央RC)、田邊 百葉(白根RC)

オリエンテーション後は、ホテルオークラ新潟にて当地区へのインバウンドの学生4名とホストファミリーの皆様からも参加して頂き ROTEX 主催クリスマス会を開催しました。ROTEXの企画したゲームや来日学生やホストファミリーのスピーチで盛り上がるクリスマス会となりました。



2019~2020 年度 長期派遣学生選考試験報告

青少年交換委員会

委員長 三牧 好起 (頸北RC)

11月23日(金、祝日)クロスパル新潟にて、長期派遣学生選考試験を開催しました。今年、3名からの応募があり当日は筆記試験と山本 和則地区パストガバナー、大谷 光夫地区ガバナーエレクト、当委員会による面接を実施しました。

また、事前提出課題として作文も提出して頂いておりますが、3名の学生はそれぞれ今の自分がやるべきことや将来の夢をしっかりと持っている方々でした。

選考結果は、全員合格として後日合格通知書を郵送しております。学生氏名と合格通知書は以下の通りです。

2018年11月27日

佐藤 花与、小田 夕、神谷 優李 様

国際ロータリー第2560地区

ガバナー

青少年交換委員会委員長



ロータリー青少年交換 長期派遣学生選考試験 合格通知書

寒冷の候、時下ますますご清祥の段、お慶び申し上げます。

さて、貴殿はロータリー青少年交換長期派遣学生選考試験において優秀な成績を修められました。よってここに、選考試験の合格を通知いたします。

今後は、派遣候補学生としてロータリーが主催するオリエンテーション等に参加され派遣学生としての考え方、心得を習得され、正式なロータリー青少年交換長期派遣学生になるように努めてください。

また、派遣候補学生はオリエンテーション等の状況を考慮し、派遣相手国が決定され、来年8月にロータリー青少年交換長期派遣学生として相手国に派遣される予定です。

派遣までの約9か月間、健康に留意され、有意義な留学生活が送れるよう準備に励んでいただければ幸いです。



ロータリー財団地区奨学生募集説明会

ロータリー財団委員会

奨学金・V T T委員会委員長 五十嵐英紀
(新潟万代R C)

2018年12月8日、新潟市中央区の万代シルバーホテルに於いて2018-2019年度(2019-2020年度派遣)の地区奨学生の募集説明会を開催いたしました。

近年は少子化の影響なのかロータリー地区奨学生希望者も減少傾向にあり、財団委員会としてはロータリー財団の奨学金制度をいかに周知し留学を希望されている学生やそのご家族にとって意義のある制度に変革していけるように、今年度は有識者に助言をいただき募集日程の大幅な変更と規約の改定を行いました。また本来は学生が対象の募集説明会を県内大学を中心とした教育機関の留学派遣担当の事務担当者まで広げ、また説明会とは別に新潟大学の交換留学推進課へ伺いロータリー財団とロータリー奨学金制度の説明をさせていただく機会を得ることができました。

その甲斐あってか当日は新潟市に初雪が降り足下の悪い中、例年より大勢の学生とその関係者の皆様にご参加いただきました。

説明会は冒頭、佐々木昌敏委員長よりご挨拶があり、続いて「国際ロータリーの目的と地区奨学生役割」という演題で高橋秀樹学友会委員長よりロータリアンがどのような理念でこの制度を運営しているのかとロータリーの歴史と活動の基幹をご理解いただくとともに、応募に際しての資格条件や諸注意を説明いたしました。

いずれの参加者も大変熱心にメモをとり、真剣な眼差しでこちらのお話を聞いていただき、有意義な説明会をすることができました。



今後の主な日程

- 2019年2月末日 応募者からのロータリクラブへの申請書提出締切り
- 2019年3月15日 スポンサークラブから地区への推薦状提出締切り
- 2019年4月6日 最終選考(地区役員による面接試験)

奨学金事業は目に見える形での成果が見えにくい事業ではありますが、当地区にとって有意の人材育成のためには欠かせない事業であります。

地区内ロータリアンの皆様のより一層のご協力をお願い申し上げます。

1 月地区の予定 【職業奉仕月間】

(RI レート: \$1=¥112)

	地区主要行事	会場
13-19(日～土)	2019 年度国際協議会	サンディエゴ
19 (土)	2019 学年度米山記念奨学生選考会	万代シルバーホテル

2 月地区の予定 【平和と紛争予防／紛争解決月間】

	地区主要行事	会場
2 (土)	第 2 回米山記念奨学委員長セミナー	ホテルオークラ新潟
9 (土)	地区諮問委員会・大谷年度第 2 回地区運営会議	ホテルオークラ新潟
10 (日)	2019 年 2 月長期青少年交換学生オリエンテーション	クロスパルにいがた
16 (土)	第 2 回地区ロータリー財団セミナー 兼 資金管理セミナー	万代シルバーホテル

新入会員紹介

RC	氏名	入会日	会社名	職業分類
新発田城南	前田 直樹	2018. 12. 13	(株)扶桑社	建築材料販売業
新発田城南	渡辺 修一	2018. 12. 20	(有)八千代レンタ・リース	道路旅客運送業
五泉	久保田 義隆	2018. 12. 1	デンカ生研(株)	医薬品製造業
直江津	齋京 四郎	2018. 11. 27	おふいす まちがたり	私塾

訃報

クラブ名	氏名	ご逝去日	会社名
新潟 RC	大谷 正雄 1983-1986 地区幹事 2012.7 より名誉会員	2018. 11. 21	(株)大谷商会 会長
糸魚川 RC	山田 紀之	2018. 12. 7	
高田東 RC	有沢 栄一 チャーターメンバー	2018. 11. 26	(株)有沢製作所 相談役

心よりご冥福をお祈りいたします。



第2560地区 2018-19年度 11月末 会員数および出席報告

R C	例会数	出席率	会員数			
			2018年7月1日	11月末会員数	うち女性	増減
第1分区(9クラブ)	／	84.95	375	381	37	6
新発田	4	94.34	95	97	0	2
村上	4	90.08	37	37	9	0
水原	3	83.33	27	27	0	0
中条	4	93.75	36	36	3	0
新発田城南	4	74.86	43	44	4	1
豊栄	3	75.00	24	24	3	0
新発田中央	4	84.02	49	51	5	2
中条胎内	3	84.69	37	37	7	0
村上岩船	3	84.52	27	28	6	1
第2分区(9クラブ)	／	78.94	437	452	21	15
新潟	4	84.29	86	93	1	7
新潟東	4	82.40	57	60	7	3
新潟南	4	76.46	104	105	2	1
佐渡	5	91.20	7	7	0	0
新潟西	4	71.27	39	41	1	2
佐渡南	4	90.91	41	42	5	1
新潟北	4	66.25	40	41	0	1
新潟中央	3	82.50	25	24	0	-1
新潟万代	3	65.17	38	39	5	1
第3分区(6クラブ)	／	72.60	117	116	4	-1
新津	4	70.79	18	20	0	2
村松	4	88.89	9	9	0	0
五泉	4	72.73	13	12	1	-1
白根	5	74.11	37	36	1	-1
新津中央	4	71.56	30	29	1	-1
阿賀野川ライン	4	57.50	10	10	1	0
第4分区(11クラブ)	／	78.37	367	375	26	8
三条	4	84.38	56	60	0	4
燕	4	74.16	33	34	2	1
加茂	4	75.97	30	29	5	-1
三条南	4	84.61	48	48	3	0
分水	4	84.82	28	29	3	1
見附	4	70.00	20	20	1	0
吉田	4	88.90	28	30	3	2
三条北	4	75.00	64	63	2	-1
巻	4	83.80	20	22	1	2
田上あじさい	4	57.10	7	7	1	0
三条東	4	83.33	33	33	5	0

R C	例会数	出席率	会員数			
			2018年7月1日	11月末会員数	うち女性	増減
第5分区(7クラブ)	／	85.69	316	323	24	7
長岡	4	86.84	45	48	1	3
柏崎	4	84.74	43	43	0	0
長岡東	3	87.40	67	67	5	0
柏崎東	4	90.09	48	50	4	2
栃尾	4	87.50	22	23	0	1
長岡西	4	81.25	56	55	5	-1
柏崎中央	3	81.98	35	37	9	2
第6分区(6クラブ)	／	80.71	149	149	10	0
十日町	4	94.69	33	33	3	0
小千谷	5	75.73	33	33	4	0
雪国魚沼	4	70.60	27	27	2	0
十日町北	3	93.94	22	22	0	0
津南	4	77.89	27	27	1	0
越後魚沼	4	71.43	7	7	0	0
第7分区(8クラブ)	／	80.67	330	338	23	8
高田	4	98.58	65	64	0	-1
直江津	3	89.28	61	66	5	5
新井	4	76.52	30	34	2	4
糸魚川	4	71.42	41	42	3	1
高田東	4	80.40	37	36	2	-1
糸魚川中央	4	79.29	36	36	0	0
頸北	4	87.50	15	15	1	0
越後春日山	5	62.39	45	45	10	0

クラブ数	56 クラブ
7月1日 会員数	2,091 人
11月末 会員数	2,134 人
女性会員数	145 人
純増減会員数	43 人
当月平均出席率	80.40 %

※先月号の訂正

加茂RC 7月1日会員数(28名⇒30名)



■ 「四方よし」

ロータリーコーディネーター補佐を務めて3年目になります。

1月は職業奉仕月間でロータリーの「五大奉仕」は次のように記されております。

「奉仕の第二部門である職業奉仕は、事業および専門職務の道徳的水準を高め、品位ある業務はすべて尊重されるべきであるという認識を深め、あらゆる職業に携わる中で奉仕の理念を実践していくという目的を持つものである。会員の役割には、ロータリーの理念に従って自分自身を律し、事業を行うこと、そして自己の職業上の手腕を社会の問題やニーズに役立てるために、クラブが開発したプロジェクトに応えることが含まれる。」

職業奉仕月間では、職業奉仕の理想を日常実践するテーマに基づいて、多くのクラブで様々な取り組みが行なわれます。たとえば、会員企業を対象に社員表彰の場を設けたり、優れた活動をしている企業にスポットを当てて職場訪問や研修をおこなうなど、自社の状況把握や今後の新たな取り組みを考える時期だととらえているメンバーも多いのではないのでしょうか。

ご存知のように日本には江戸時代から明治時代にわたって日本各地で活躍していた近江商人が大切にしていた「三方よし」という文化があります。「売り手よし、買い手よし、世間よし」というすばらしい考え方です。そして私の地区仙台では「三方よし」に「働き手よし」を加えた「四方よし」という取り組みがスタートしました。現代社会において、非常に重要な要素を取り入れたものと高く評価していますが、翻って考えてみますと、ロータリーにおける職業奉仕はまさしくこの「四方よし」の理念に基づいて今日まで行っているものと言えます。

例えば会員相互における密接な情報交換や、奉仕活動や卓話などから市場の状況を把握し、企業活動に反映させることによって、地域の皆さんが求めている安全で安心して暮らせるまちづくりに貢献できること、そして一番重要なことは、それぞれの企業で働く皆さん、つまり「働き手」が安定して仕事に取り組める職場づくりではないのでしょうか。

安定した職業を営むことは、原則的に営利を追求することにはほかなりませんが、「職業倫理」に基づくことによって、受益者が「自分だけ」、そして「自分の企業だけ」ではなく、仕事を通して如何に地域へ貢献できるか、それがロータリーの目指す職業奉仕であると思います。

昨今、世の中のスピード感は加速度的に進んでおります。我々ロータリーの取り組みも、時代背景に合わせなければならない場面が出てくるかもしれません。ただし、基本的な理念やこれまで積み重ねてきた歴史についても大切にしながら進まないことにはロータリーの精神が全くの別物になってしまう恐れがあります。会員各自が倫理と理念を追求し、職業奉仕を実践する為には、例会や事業、地区が行う研修や地域が行うセミナー等により多くの方々に参加して、会員相互の対話や意見交換を増やす事が重要になってきます。このようなことをクラブとしてアピールすることが公共イメージのアップにつながり会員増強が図られると思っています。是非、ロータリーの良さを地域の皆様に広めてまいりましょう。

第一ゾーン ロータリーコーディネーター補佐 菅原 裕典(仙台泉RC)

■ 「自分自身を磨き仕事を磨く」

「公共イメージと認知度の向上」には、方法論と内容論が有ります。

方法論では、マスメディアの活用・ソーシャルメディアの活用・キャンペーンの実施・果ては人伝て迄も有ります。効果を考えるなら、マスメディアの活用が1番ですが、費用対効果や組織広報に多大な費用をかける事は是非等、議論すべき事が沢山あります。

そして、どのような媒体を使用しても伝えるべき内容を吟味すべきです。ロータリーの活動は多岐に亘っているので、伝えるべき点が明確になって居ないと効果が無いばかりではなく、かえって混乱を来すと考えます。これが内容論です。

伝えるべき点をクラブで、地区で話し合ってくださいと考えます。表現が短ければ短い程効果的でしょう。私は、ロータリー全体のどこでも活用できる「ロータリーの目的」を短く表現したものが良いと考えています。

画像はロータリーの目標を世間の方々に解り易く伝える為に、2570地区で作ったシートです。参考に供します。しかし、押しつけはしません。

ロータリーの目標の第1項は「貴方も参加しませんか？」で表しています。

ロータリーの目的の第2項は「自分自身と自分の職業を磨きながら」で表しています。

ロータリーの目的の第3項と第4項は「地域や国際社会に奉仕する」で表しました。

扱、「ロータリーって何？」のシートの中に

「自分自身を磨く」とあります。「自分自身を磨く」事は自分の職業を磨く事の大前提であると思っています。自分を磨かずして自分の仕事(まして社員)を磨く事は出来ません。「自分を磨くとは、自分の人格を高める事、徳望を身に着ける。」事で、高学歴とか高収入という事ではありません。具体的な行動の基準は「ロータリーの戦略計画」にある5つの中核的価値観にあるとも思っています。「奉仕」と「親睦」は誰でもわかっている事です。「高潔性」、「多様性」、「指導力」についてクラブで話し合ってください。

「ロータリーって何？」のシートの中に、「仕事を磨く」と表現しました。

先ずは、自分の仕事(会社の事業等)が「地域の役に立つ仕事をする。高潔性を念頭に。」という事であると思っています。事業経営で「売り上げや利益を大きくする事」は大切な事ですが、それだけではないと考えています。地域で「お客様が必要としている」事業を行う事が大切であると常日頃考えています。

その結果、利益も上がり、会社も有名になって来るでしょう。間違っても「有名な会社(上場企業)にする事」が目標ではないと考えます。

第一ゾーン ロータリー公共イメージコーディネーター 鈴木 秀憲(吹上RC)



秋の外国人叙勲で米山学友が受章

11月3日、平成30年秋の外国人叙勲が発表され、元啓明大学校副総長・同日本学科名誉教授、元韓国日本協会会長の米山学友、呂博東さん（韓国／1978-80／水戸RC）が、旭日中綬章を受章しました。筑波大学修士課程在学時に米山奨学生となり、研究に勤しんだ呂さんは、博士号を取得して帰国。以降、従来の日本語・日本文学中心の日本研究を超え、歴史・文化、経済、社会など多分野から総体的に日本を捉える日本学を広め、学会を立ち上げて多くの日本研究者を育てたほか、韓日民間親善交流協会を設立するなど、韓国における日本研究の発展と対日理解の促進に多大な貢献を果たしました。

栄えある受章おめでとうございます！

【呂博東さんからの謝辞】

このたびの受章は、身に余る荣誉であり、今まで巡り合うことができた、たくさんの素晴らしい皆様方のご助力と恩恵の賜物と、感謝に耐えませぬ。修士課程2年間勉学に励むことのできる奨学金を与えてくださったロータリー米山記念奨学会と水戸ロータリークラブの皆様ほか、ここに掲げ挙げることのできないほど多くの皆々様に多大なご恩を被りましたことを忘れることはできません。皆々様にこの荣誉をお返ししたいと思います。



2019年の年賀状を学友がデザイン



当会事務局では、評議員、理事、地区米山記念奨学委員長、学友、他団体などへ毎年約4,600枚の年賀状を送っています。今回は、マレーシア出身の米山学友、ケリン・スーさん（2014-16／新城RC）

が年賀状のデザインをしてくださいました。
ケリンさんからのメッセージ：イノシシと門松と花火で構成してみました。門松の隣に、2019年を代表するイノシシが嬉しく新年を迎えています。海外ではお正月を迎える際、花火を打ち上

げることも多いで
す。米山は日本だけ
でなく、世界の方々
も一緒になっている
ので、日本のお正月
を代表する門松と、
世界のお正月を代表
する花火を一緒に描
き、皆と一緒に
2019年を迎えたい
という思いを込めて
描きました。



寄付金速報 — 年内の送金はお早目に —

11月までの寄付金は前年同期と比べて0.6%減（普通寄付金：0.9%増、特別寄付金：1.3%減）約430万円の減少となりました。当財団設立50周年で寄付実績の良かった昨年度とほぼ同額にまで回復したのは、匿名の大口寄付があったためです。また米山月間で集めた寄付を送

金されたクラブも多かったです。皆様からのご支援に心より感謝申し上げます。今年も残すところあと半月余りとなりました。確定申告を予定されている方は**12月28日（金）までに当会口座に着金した特別寄付金**について、翌年1月末までに確定申告用領収証を発行いたします。

今年も盛り上がりました—韓国米山学友会総会—



11月17日、ソウル市内で韓国米山学友会の定期総会が開催され、学友約65人のほか、韓国・日本のロータリアン、台湾・関西から学友会役員が参加して、約80人の盛会となりました。第1部では今年隔月で開催されたセミナーやワークショップ、ボランティア活動、同学友会が推進する日本人留学生支援の奨学事業を扱

大するための活動について報告されました。第2部では、日本人留学生3人への奨学金授与式をはじめ、学友会顧問の韓根植氏が作曲した「ロータリー米山の夢」のお披露目や伝統芸能サムルノリの祝賀公演、恒例の景品抽選で盛り上がりました。「今年帰国して初めて参加したが、こんな素晴らしいネットワークができて良かった」、「少しずつ学友会が発展していくことを感じてうれしい」などの声も聞かれ、積極的に活動したことを今後に生かし、さまざまな分野で活躍するメンバーが互いに助け合える環境をつくり、学友同士の連携・連帯を強めていくことを皆で確認しました。

(取材協力：韓国米山学友会広報委員会)

台湾米山学友会総会 — 第8代理事長決まる —

今年台湾米山学友会が発足して35周年です。12月1日に開かれた年次大会には、学友や家族、国内外からのゲストら総勢120人以上が集まり、当会



からは齋藤直美理事長、若林紀男副理事長、武田和夫常務理事、水野 功常務理事が参加。

大会では、呉憲璋理事長より任期最後の挨拶や、台日ロータリー国際親善会の李兆祥理事長から祝福の言葉が贈られたほか、学友を代表して許國文元理事長と林華明パストガバナーがスピーチをしました。また、同学友会が支援する

日本人奨学生の5人も、中国語と日本語でそれぞれ自己紹介をしました。続いて、齋藤理事長と徐重仁初代理事長が35周年の記念ケーキにナイフを入れ、

喝采を浴びました。

今大会では役員改選が行われ、投票の結果、第8代理事長に郭錦堂さん(1984-86/相模原中RC)、幹事長に黄秀婕さん(1996-98/盛岡北RC)が就任し、そのほか常務理事・理事16人、監事5人が選ばれました。来年1月から新役員での体制がスタートします。

申告用領収書は来年1月にお送りします

ロータリー米山記念奨学会へのご寄付は税制優遇を受けることができ、「**税額控除**」か「**所得控除**」いずれか有利な方式を選択できます。今年1~12月に寄付をした方には、来年1月末までに申告用領収書をクラブ経由でお送りします。**12月28日(金) 当会着金分までが対象です。**

米山記念奨学会事務局は、12月28日(金)~1月6日(日)の間休業させていただきます。来年は1月7日(月)より通常業務となります。

文庫通信 [374]




ロータリー文庫通信374号 2018年12月 古典文献の翻訳書より

今世紀に入り、国際ロータリーは大きく変質しました。2001年から2016年の規定審議会での制定案が採択されることにより、組織規定上のロータリーのあり様が変わりました。同時に目には見えないロータリーの本質的な基本的価値の多様化が進みました。現在から未来へ続くロータリーを考えるには過去を正しく理解しなくてはなりません。その意味で、今回はロータリーの古典文献の著名な翻訳書をいくつかご紹介いたしました。

書名	著者 / 出版社	発行年	頁	
ロータリーの理想と友愛 (THIS ROTARIAN AGE)	ポール P. ハリス著； 米山梅吉訳 -	2007	295P	※
我が自叙伝 (THE HERBERT J. TAYLOR STORY)	ハーバート J. テーラー著； 菅野多利雄訳 -	1990	219P	※
ロータリー・モザイク (ROTARY MOSAIC)	ハロルド T. トーマス著； 松本兼二郎訳 -	2006	327P	※
ロータリー通解 (A TALKING KNOWLEDGE OF ROTARY)	ガイ・ガンディカー著； 小堀憲助訳 -	1989	69P	※
ロータリー解析 (THE MEANING OF ROTARY)	ヴィヴィアン・カーター著； 田中毅訳 -	1999	99P	※
シェルドン…忘れ得ぬその名 (SHELDON…A NAME TO REMEMBER)	ジョンO.ナットソン著； 神崎正陳訳 -	1998	12P	※

- ・上記 ※印はデジタル化されている資料です。
- ・「ロータリー・モザイク」は書籍を販売しております。ご注文はロータリー文庫までお願い致します。(FAX: 03-3459-7506)

* 資料の検索は文庫ホームページから <http://www.rotary-bunko.gr.jp>

 <p>ロータリー文庫通信 ロータリー文庫の資料から、毎月資料を厳選して発信しています。 詳細はこちらへ</p>	 <p>ロータリー文庫検索 2万点余りある資料を検索出来ます。PDFのみの検索もできます。 詳細はこちらへ</p>	 <p>ロータリー文庫について 文庫について HP利用方法 運営委員会から</p>
---	--	---

トップページには三つの窓があります。上記矢印「HP利用方法」をクリックしていただきますと、「ホームページの利用方法」というPDFが表示されます。

ここには1999年2月ホームページ開設以来、データベース化された全ての資料の検索方法が書かれています。

尚、過去の文庫通信一覧については、左窓の「詳細はこちらへ」をクリックしてください。